

たよりNo.38 2007年7月1日 発行

美ヶ丘敬楽荘たより



笑顔いっぱい元気あかし！

発行
発行責任者
〒041-1231
E-mail
ホームページ

社会福祉法人 函館緑花会 特別養護老人ホーム美ヶ丘敬楽荘
施設長 清水 修一

北斗市向野 167-2 TEL (0138) 77-7345 FAX (0138) 77-6640

k-rakuso@wonder.ocn.ne.jp

<http://www15.ocn.ne.jp/%7Ek-rakuso/index.html>



北斗市の認知症サポーター100万人 キャラバン事業の推進について

施設長 清水 修一

昨年発行のたより(No.三六)でも「認知症サポーター100万人キャラバン事業については掲載しましたが今回は北斗市の活動状況を報告します。

認知症サポーター100万人キャラバン事業とは、認知症介護に携わる介護保険施設・事業所の介護従事者等の認知症に関する基礎知識を有している者が、住民講座(認知症サポーター養成講座)の講師(キャラバン・メイト)となり、主体的に地域住民等に認知症についての正しい知識を普及・啓発し、「認知症を理解し、認知症の方々と家族を温かく見守り支援する人(認知症サポーター)」を全国で一〇〇万人育てることにより、認知症の方々が安心して暮らしていくための地域づくりを目的とするものです。



北海道では、市町村と連携して道内各地で認知症サポーター養成講座を開催し、平成二一年度末までに四万人の認知症サポーターの誕生を目指しております。

北斗市としての取り組みは、昨年の一〇月に事業を推進するための体制づくりを行い、市役所健康推進課に事務局を設置し、講師役となるキャラバン・メイト養成研修の修了者で北斗市キャラバン・メイトネットワーク(通称ほくとメイト)を立ち上げました。現在は三一名(当施設の職員四名を含む)が登録し、地域で活動を展開しております。

昨年度は、民生委員、町内会、老人クラブ、高校生等を対象として講座を一二回開催し、二八〇名のサポーターを養成することができました。

今年度は、メイトのグループ編

成の見直しを行い、四グループに分かれて五〇〇名のサポーターの養成を目標に立て、地域ごとの開催を目指し、活動していきます。さらに講師役のキャラバン・メイトの養成研修を一〇月に開催し、一緒に活動してくれる「ほくとメイト」を増やしていく計画を立てております。

認知症サポーターの役割は、地域で暮らす認知症の人を、商店、交通機関、金融機関、自分の職場等、各々の生活場面において自分の出来る範囲で手助けをしたり、地域で生活する認知症の人と公的サービスとを繋げる窓口となる役割が期待されております。

ほくとメイトは、今後も地域住民を対象にした認知症の学習会「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症を理解し、支援を拡大させる目的で講座の開催を行っていきます。

認知症になっても住み慣れた北斗市でいつまでも安心して暮らしていける街づくりするための協力やご理解をお願い申し上げます。

当施設職員による サポーター養成講座の様子



北斗市民

大野農業高等学校生徒

第7支部民生児童委員

美ヶ丘敬楽荘デイサービスセンター



五月七日から十一日までの五日間、森町の青葉ヶ丘公園、オニウシ公園で花見を行いました。

今年の冬は暖かく、開花予想情報では、当初平年よりやや早まるとの情報でした。最終的にはほぼ平年並みの時期に開花し、花見期間中森町の桜は満開でした。

昨年、一昨年と五稜郭公園へ花見に出かけておりましたが、今年は工事のため五稜郭内へ車両のまゝ入ることが出来ないとの事で、行き先を変更しました。



桜の前でハイポーズ！



今年、花見の後に森町の物産館

で買い物する時間を設けました。

地元のお菓子を購入する方、海産物等を購入する方、普段食べる機会が無いとソフトクリームを食べる方もいました。

来年も、満開の桜を観に出かけたいと思います。



天候にも恵まれました。

介護教室

三月十八日(日)に介護教室を開催しました。農作業が忙しくなる時期でしたが、デイサービスセンター利用者のご家族等十名の方がご参加くださいました。

介護予防についての説明、実際にデイサービスで行っている体操の体験、利用者から好評のおやつ作りと試食をおこないました。

体験利用始めました

四月より、デイサービスセンターでは体験利用を始めました。

体験利用とは、介護予防通所介護、通所介護、生きがいデイサービス、障害デイサービスの利用を希望する方が、実際にデイサービスを体験し、利用するかどうかを判断していただくためのものです。送迎、食事、体操等全てのメニューを体験していただくことが出来ます。

体験利用を希望する方は、担当のケアマネージャーまたは直接デイサービスセンターにご連絡下さい。

・体験利用料金 五百円
 ・美ヶ丘敬楽荘
 デイサービスセンター
 電話 七七―七三二九
 (担当 神)

思い出アルバム



バイキング！あれも、それも、これも…

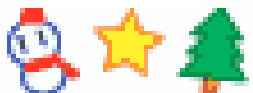


今年、はきたあかりを植えました。収穫が楽しみです！



特

集



クリスマス会

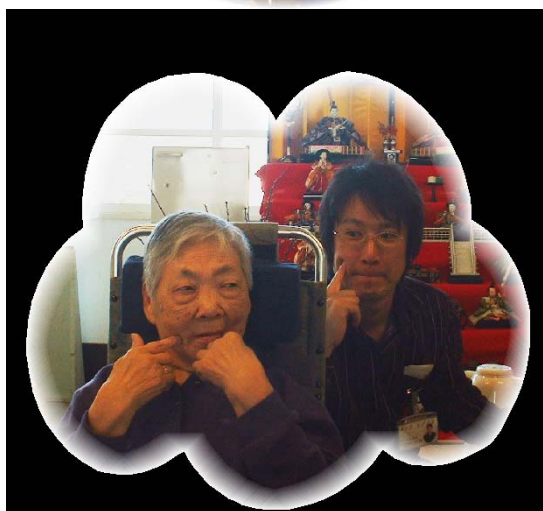
今年度の余興は、職員による「ヤングマン」と「ラッツアンドスター」でした。利用者様、またボランティア様も踊りを披露してください、拍手なども聞かれ、盛り上がりました。食事も普段とは一味違うご馳走を召し上がり、とてもいい笑顔を向けてくださいました。



ひなまつり

雛人形を眺めながら、茶話会を行いました。

お茶菓子とお抹茶を皆様おいしそうに召し上がっておられました。ボランティアの方の協力も得ながら、楽しいひと時を過ごされました。



行

事



節分

赤と青の鬼に扮した職員に向かい、勢い良く豆をぶつける姿や、鬼に少しびっくりした表情など、利用者様のいつもとは違った一面を見ることが出来る行事です。

鬼に扮装する職員は毎年交代します。今年も皆さんで「福は内、は外」の掛け声とともに行いました。



お花見

北斗市内の陣屋跡地に出かけ、満開の桜を笑顔で眺めていました。

今年はいにくの曇り空で、長時間外に出ることは出来ませんでした。皆様満足されたようで、カメラを向けるとニッコリと笑顔を返してくれました。



年取り・新年会

去年の十二月三十一日、皆さんと年取りを行いました。

おとそが振舞われ、年越しそばに皆さん舌鼓を打っていました。

年が明けて一月二十五日、少し遅めの新年会を行いました。

「今年も一年よろしくお願ひします」の挨拶とともに、皆さんから笑顔がこぼれました。



新人職員紹介



介護職員
柳澤 真由美

介護職員として働かせて頂き、一ヶ月半が過ぎました。

初めての介護職に、コミュニケーションの難しさや新鮮な驚きを感じながら、諸先輩方にはいつも心強いご指導とサポートをして頂き、心から感謝しております。今はまだ余裕も無く、仕事内容を必死に覚える事で精一杯ですが、少しずつでも着実に利用者様に信頼して頂ける介護員を目指し、頑張りたいと思いますので宜しくお願いします。



介護職員
藤井 康子

「ただいま」2年

ぶりに戻って来ました。利用者・職員の皆さん、温かく迎えて下さいましてありがとうございます。2年前とほとんど変わっていない利用者さんの顔を見て、とても懐かしく、そして嬉しく思いました。今はまだ、毎日の業務に追われて皆さんに助けってもらっています。これからも笑顔いっぱい頑張っていきたいと思えます。また、よろしくお願ひします。

職員異動



介護支援専門員
三澤 祥子

平成19年6月1日

付けで在宅介護支援センターより異動になり美ヶ丘敬楽荘の介護支援専門員として配属されました。利用者の望む暮らしを念頭に、また笑顔で安心した生活を送っていただけるようなケアプランを作成していきたいと思えます。



介護副主任
高田 久美子

介護支援専門員として

2年間、利用者の方のケアプランを作成してきましたが、6月から2階介護職員として介護に直接携わることになりました。日々の生活の中でその人その人の個性を大切にしながらケアにあたりたいと思っています。よろしくお願ひします。

寄附金

(順不同、敬称を略させて頂きます)

- 大野農業高等学校 校長 小林 久人
- 創作舞踊松本流 家元 松本 哲子
- 南谷 正己・岩崎 悦夫
- 伊藤 寛・坂本 常光

寄附物品

(順不同、敬称を略させて頂きます)

- NTT O.G.夢塔会 会長 海谷 トキ子
- (社)生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 函館協会 会長 内藤 要一
- 丸高水産㈱ 代表取締役社長 高橋 茂
- ひまわり会 代表 山上 トモ
- 新世代(株) 代表取締役社長 中川 克也
- 山本 和子・松田 千エ
- 佐々木 孝司・坂口 寿美枝
- 中村 正裕・野田 哲子
- 坂東 庄司・高田 要子
- 屋敷 幸雄・山本 邦子
- 佐藤 春義・荒木 洋子
- 梅津 富美・千葉 紀子
- 三輪 喜久代・戸 美和子

お知らせ

社会福祉法人函館緑花会では、二〇〇六年度の決算が終了しました。事業報告・財産目録・貸借対照表及び収支計算書の写しを、ふじの学園・美ヶ丘敬楽荘の二施設で開示しております。

編集後記

日差しが眩しい初夏を迎え、入所者の方々も外で活動しやすい季節になり、これから園外で行なう行事が次々と予定されております。今回の特集は、美ヶ丘敬楽荘で行なった行事を掲載し、美ヶ丘敬楽荘での生活の様子が伝われば幸いです。

また、二〇〇七年度より広報委員会のメンバーが一部変更されました。これからも広報誌を通じて家族及び地域等へ情報を発信していきたいと思っております。

事務主任 堀

※掲載させてもらった写真は、本人またはご家族より了承をもらい、掲載しております。